

授業科目 基礎作業学

【担当教員名】 永井 洋一、大山 峰生、 桐本 光、鈴木 誠		対象学年	1	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 作業療法の治療技術である作業活動の理解、作業活動が与える対人的な影響、作業と人との相互作用を理解し、作業活動が対象者の機能回復・維持にどのような機序で作用するのかを理解する。					
【学習目標】 1. 作業活動に関心を持ち、作業とは何かを理解する。 2. 作業活動が対象者に及ぼす要因を理解する。 3. 作業活動を治療的に用いる意義を理解する。 4. 身体及び精神活動が対象者の機能回復・維持に作用する機序を理解する。 5. 治療効果を説明するための初歩的な技術と理論を修得する。 6. 身体及び精神活動を定量的または個別的に分析する力を習得する。 7. 作業活動を定量的または個別的に分析する実践態度を養う。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	基礎作業学のオリエンテーション			1	講義
2	作業の定義と日常生活			1, 2, 3	講義, 討議
3	作業の理解：形態, 機能, 意味			1, 2, 3	講義, 討議
4	作業を通じた回復や成長			2, 3, 4	講義, 討議
5	作業遂行に関する理論と機能解剖学的理解			2, 3, 4	講義, 討議
6	作業遂行に関する理論と神経生理学的理解			2, 3, 4	講義
7	作業遂行に関する理論と運動学的理解			2, 3, 4	講義
8	実習オリエンテーション（レポート、プレゼンテーション）			2, 3, 4	講義
9	機能解剖学的動作解析 1			4, 5, 6, 7	実習
10	機能解剖学的動作解析 2			4, 5, 6, 7	実習
11	神経生理学的動作解析 1			4, 5, 6, 7	実習
12	神経生理学的動作解析 2			4, 5, 6, 7	実習
13	運動力学的動作解析 1			4, 5, 6, 7	実習
14	運動力学的動作解析 2			4, 5, 6, 7	実習
15	グループ発表・討議			4, 5, 6, 7	討議
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		「作業」って何だろう	吉川ひろみ	医歯薬出版	2008・2,200円＋税
参考書					
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 出席、授業態度、作業活動参加状況、レポート、 試験により総合評価			【履修上の留意点】		